

生きていける賃金を出せ！ 希望者を全員、正社員にしろ！

CTS 職場ニュース

動労千葉（国鉄千葉動力車労働組合）
2022年2月18日

4月まで春闘連続行動を開始します！

22春闘で抜本的な賃上げをかちとるために、JR-CTSで働くの皆さんが、今こそ声を上げ、行動に立ち上がることを強く訴えます！

「夜勤が減らされて実質、給料が下げられた。さらに下がれば続けていけない」

「親の援助がなければ生活できない。親に迷惑かけずに生活できる賃金を」

「こんな給料では結婚のことなんか考えられない」

「CTSの昇給額には深く失望」

「来月の生活には困らなくても、数十年後を考えると不安」

「休日勤務をやってもギリギリ。子育てや介護ができるような賃金じゃない」

「住宅手当がないと一人暮らしできない」

「福利厚生は、はっきりいって無いに等しい」

動労千葉がおこなった春闘アンケートのコメント欄には、本音の言葉、怒りと不安にあふれていました。

●清掃の手取り15万2千円、運転車両で19万円

春闘アンケートの手取り額の平均は、清掃では約15万2千円でした。これは泊り勤務や夜勤者も含めた平均なので日勤だけの方は、これよりもかなり低い数字になります。

運転車両では、平均手取り額で約19万円。泊り勤務のない上回り検修などでは、さらに厳しい数字になると思います。平均勤続年数は5年で、多くの回答者が大卒でした。休日勤務や各種手当を含めてこの金額であり、かなり厳しい数字です。アンケートで要求の声が大きかった住宅手当の支給人数は、CTS全体でなんと16～7名にすぎません（団交での会社回答）。

<8割が生活費「足りない」！>

また、「生活費は足りていますか？」という質問には、「時々不足」「いつも不足」の合計が78・2%に上りました。

●4月まで春闘連続行動

動労千葉は春闘で、アンケート結果をもとにCTSに対して「4万円の賃金引き上げ」「契約・パートの時給1500円」を要求して闘います。今週から4月まで毎週、毎週の連続行動を始めます！

荒唐無稽な数字に聞こえるかもしれませんが、そんなことはありません。「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならない」（労働基準法第1条）のです。これぐらいは、どうしても必要です。はるかにそれ以下で、社員をこき使っているCTSは労基法違反の違法企業です。

（裏に続く）

動労千葉は賃上げ4万円

時給1500円を要求すしま

<とんでもない物価上昇が始まる中で>

今年の春闘で頑張ったからといって、すべてが解決するわけではないかもしれません。

しかし！ 黙って会社の言うことに従っていても、われわれの状況はなにひとつ良くなりません。会社のいいように使われて終わりです。それは、皆さん入社してから、毎月毎月の賃金明細を見るたびに「こんなもんなのか…」と痛いほど思い知らされてきたことではないでしょうか。

とんでもない物価上昇が始まっています。この現実を、なんとしてもひっくり返すために行動を開始しなければ、いつまでたっても状況は変わりません。

● “格差社会” とはCTSの現実そのもの！

会社の幹部、管理者ばかりが安泰なイスを確保し、コロナ禍の中で現場を支えてきた私たちは、将来の展望すら描くことができない超低賃金にすえ置かれたまま。いま社会問題になっている「格差社会」「新自由主義の生み出した現実」とは、CTSの現実そのものです。

<こんなにいるのか！ 天下り管理者>

動労千葉が調査したところ、現在、本社・各事業所にいる天下り管理者は80人以上(!)にのぼります。無意味な管理者の超勤、「不要不急」のくだらな研修などで何かやってるかのように見せかけていますが、こんなに管理者が必要ですか??

コロナ禍での2年間にわたる要員不補充(新規募集停止)で、どこでもギリギリの状態にある現場と見比べたら、CTSはバランスを欠いたまでに管理部門が肥大化しています。私たちは、JRで余った管理者を食わせるために汗水

たらして働いているわけではない！。

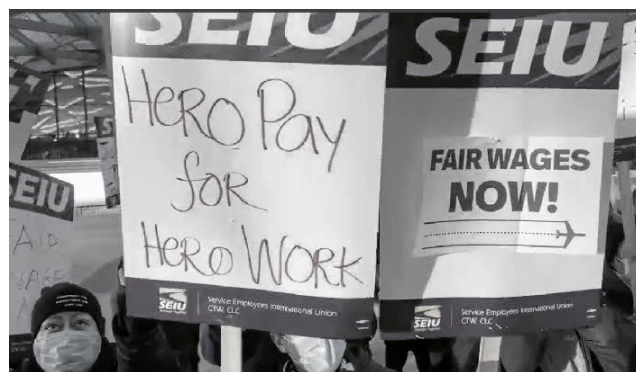
<「エッセンシャルワーカー」こそ職場の主人公>

コロナ禍を通じて、「エッセンシャルワーカー」(社会に必要不可欠な労働者)こそが職場を支えぬき、社会を支えているんだという誇りと実感が広がりました。そもそも、数年単位で、管理職や役員ポストを順ぐりに回っているだけの幹部連中に、仕事のこと、職場のことが分かるわけがないのです。コロナの2年間、様々な形で鉄道運行を支えてきたのは私たちです。ここは私たちの職場なのです。

<動労千葉に加入しともに春闘を闘おう!>

アメリカでは「エッセンシャルワーカーこそヒーローだ!」とマスコミなどでもてはやされる中、私たちと同じ現場労働者たちは「ヒーローにふさわしい賃金を!」と次々とストライキに立ち上がり、2021年秋に歴史的な労働条件の改善を勝ち取っています。

JR-CTSで働く皆さん! 動労千葉に加入し、ともに春闘を闘おう!



アメリカではコロナ禍で「エッセンシャルワーカーはヒーローだ」ともてはやされてきたが、現場労働者は「今すぐ正当な賃金を!」「ヒーローにふさわしい支払いを!」のプラカードを掲げてストライキに立った